

各位

会社名株式会社スクロール
 代表者名代表取締役会長 堀田 守
 (コード: 8005、東証第1部)
 問合せ先 執行役員経営統括部長 杉本 泰宣
 (TEL 053-464-1114)

連結業績予想の修正並びに個別業績予想及び前期実績との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年1月31日に公表いたしました2019年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。あわせて、個別業績におきましては予想を開示しておりませんでしたが、前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 70,000	百万円 1,800	百万円 1,800	百万円 1,200	円 銭 35.04
今回修正予想(B)	71,153	1,697	1,415	631	18.47
増減額(B-A)	1,153	△103	△385	△569	
増減率(%)	1.6	△5.7	△21.4	△47.4	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	62,207	1,303	1,458	△1,035	△30.41

修正の理由

2019年3月期連結業績予想につきまして、売上高は、新規子会社化による純増及び既存事業の業容拡大により、計画を上回る見通しです。

一方、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、当社の持分法適用会社である Cat Dong Trading and Services Joint Stock Company に係る持分法投資損失を営業外費用に計上したこと、当社子会社である株式会社トラベックスツアーズののれんの減損による特別損失を計上したことにより、前回発表数値を下回る見通しとなりました。

なお、今回修正する予想数値につきましては、売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益において、前期対比、増収増益となる見通しです。

2. 個別業績予想及び前期実績との差異について

2019年3月期通期個別業績予想及び前期実績との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 34,161	百万円 1,480	百万円 1,843	百万円 △1,276	円 銭 △37.48
今回発表予想(B)	34,519	1,712	1,495	382	11.18
増減額(B-A)	358	232	△348	1,658	
増減率(%)	1.0	15.7	△18.9	—	

(注) 当社は2019年3月期個別業績予想を開示していないため、前期実績との増減率により適時開示しております。

差異の理由

2019年3月期個別業績予想につきまして、売上高は、前期対比、増収となる見通しです。

当期、関係会社株式に係る減損損失及び貸倒引当金繰入額等が発生したものの、営業利益、当期純利益は、前期対比、増益となる見通しです。

※ 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上